

# 平成 29 年度 土地改良事業等工事積算基準 の訂正（第 1 回）

土地改良事業等適用標準歩掛・施工パッケージ

B 土 工

I 道路工

M 農地造成改良工

O ほ場整備・客土工



正 誤 表 ( 第 1 回 )

正	誤	備 考																		
<p><b>B 土 工</b></p> <p>【省略】</p> <p>B～0810 土 工</p> <p>1 適用範囲</p> <p>【省略】</p> <p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 掘 削</p> <p>【省略】</p> <p>3-3 整 地</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.20 整地 積算条件区分一覧 (積算単位：m<sup>3</sup>)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">作業区分</th> <th>敷均し作業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残土受入れ地での処理</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">敷均し (ルーズ)</td> <td>標準</td> </tr> <tr> <td>標準以外</td> </tr> <tr> <td>狭小幅員 (幅 2.5m以上 4 m未満)</td> </tr> <tr> <td>トラフィカビリティが確保できない場合</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) 上表は、構造物築造のために行う作業土工で生じた土砂等又は掘削工で生じた土砂等の受入れ地 (仮置場)、土取場での整地、締固めを行わない場合の土の敷均し等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。</p> <p>(注 2) 作業区分で残土受入れ地での処理を選択した場合の土量は、地山の土量とする。</p> <p>(注 3) 作業区分で敷均し (ルーズ) を選択した場合の土量は、敷均し後の土量とする。なお、敷均しのための、変化率 C=1.0 とする。</p> <p>(注 4) 敷均し作業内容における標準以外とは、1 工事当りの全体盛土量が 10,000m<sup>3</sup>以上の場合である。</p> <p>(注 5) 幅 2.5m未満の狭隘箇所での作業は「B～3100 土の <u>      </u> 締固め作業」による。</p> <p>【省略】</p>	作業区分	敷均し作業内容	残土受入れ地での処理	—	敷均し (ルーズ)	標準	標準以外	狭小幅員 (幅 2.5m以上 4 m未満)	トラフィカビリティが確保できない場合	<p><b>B 土 工</b></p> <p>【省略】</p> <p>B～0810 土 工</p> <p>1 適用範囲</p> <p>【省略】</p> <p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 掘 削</p> <p>【省略】</p> <p>3-3 整 地</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.20 整地 積算条件区分一覧 (積算単位：m<sup>3</sup>)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">作業区分</th> <th>敷均し作業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残土受入れ地での処理</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">敷均し (ルーズ)</td> <td>標準</td> </tr> <tr> <td>標準以外</td> </tr> <tr> <td>狭小幅員 (幅 2.5m以上 4 m未満)</td> </tr> <tr> <td>トラフィカビリティが確保できない場合</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) 上表は、構造物築造のために行う作業土工で生じた土砂等又は掘削工で生じた土砂等の受入れ地 (仮置場)、土取場での整地、締固めを行わない場合の土の敷均し等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。</p> <p>(注 2) 作業区分で残土受入れ地での処理を選択した場合の土量は、地山の土量とする。</p> <p>(注 3) 作業区分で敷均し (ルーズ) を選択した場合の土量は、敷均し後の土量とする。なお、敷均しのための、変化率 C=1.0 とする。</p> <p>(注 4) 敷均し作業内容における標準以外とは、1 工事当りの全体盛土量が 10,000m<sup>3</sup>以上の場合である。</p> <p>(注 5) 幅 2.5m未満の狭隘箇所での作業は「B～3100 土の敷均し締固め作業」による。</p> <p>【省略】</p>	作業区分	敷均し作業内容	残土受入れ地での処理	—	敷均し (ルーズ)	標準	標準以外	狭小幅員 (幅 2.5m以上 4 m未満)	トラフィカビリティが確保できない場合	<p>字句の削除</p>
作業区分	敷均し作業内容																			
残土受入れ地での処理	—																			
敷均し (ルーズ)	標準																			
	標準以外																			
	狭小幅員 (幅 2.5m以上 4 m未満)																			
	トラフィカビリティが確保できない場合																			
作業区分	敷均し作業内容																			
残土受入れ地での処理	—																			
敷均し (ルーズ)	標準																			
	標準以外																			
	狭小幅員 (幅 2.5m以上 4 m未満)																			
	トラフィカビリティが確保できない場合																			

正 誤 表 ( 第 1 回 )

正	誤	備 考																																																																
<p>3-4 路体（築堤）盛土                      (1) 条件区分                      条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.22 路体（築堤）盛土 積算条件区分一覧 (積算単位：m<sup>3</sup>)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>施工幅員</th> <th>作業形態</th> <th>土 質</th> <th>施工数量</th> <th>障害の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.5m未満</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2.5m以上 4.0m未満</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">4.0m以上</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">敷均し+締固め</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">—</td> <td>10,000m<sup>3</sup>未満</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>10,000m<sup>3</sup>以上</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">敷均し締固め</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">高含水比粘性土以外</td> <td>10,000m<sup>3</sup>未満</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>10,000m<sup>3</sup>以上</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">高含水比粘性土</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">—</td> <td>—</td> <td>無し 有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、路体又は築堤及び埋戻の自工区内で掘削又は、作業土工により発生した土砂等の敷均し・締固め、他工事で発生し運搬されてくる土砂等の敷均し・締固め、土取場（仮置場）で採取し運搬して来る土砂等の敷均し・締固め等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>(注2) 施工数量は、1工事当りの全体盛土量（施工幅員4.0m以上の合計盛土量）とする。</p> <p>(注3) 作業形態                      ①敷均し+締固め：敷均しと締固めの作業をそれぞれ異なる施工機械で行うと想定する場合。                      ②敷均し締固め：盛土材料がタイヤローラの締固めに適さない土質（砂等）の場合。</p> <p>(注4) 障害の有無                      ①無し：作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合。（例えば、築堤工事等）                      ②有り：作業現場が狭い、又は作業障害が多い場合。（例えば、現道上の工事、拡築（腹付、嵩上）工事等）</p> <p>(注5) 高含水比粘性土：バケットやブレード（排土板）等に付着しやすく、特にトラフィカビリティが不足する等問題となりやすいもの。（条件の悪いローム、条件の悪い粘性土、火山灰質粘性土等）</p> <p>(注6) 土量は、締固め後の土量とする。</p> <p>(注7) 構造物上30～60cmの埋戻の場合、施工幅員が2.5m以上であっても2.5m未満を適用する。</p> <p>(注8) 幅2.5m未満での作業は、「B～3100 土の <u>敷均し</u> 締固め作業」による。</p> <p><b>【省略】</b></p>	施工幅員	作業形態	土 質	施工数量	障害の有無	2.5m未満	—	—	—	—	2.5m以上 4.0m未満	—	—	—	—	4.0m以上	敷均し+締固め	—	10,000m <sup>3</sup> 未満	無し 有り	10,000m <sup>3</sup> 以上	無し 有り	敷均し締固め	高含水比粘性土以外	10,000m <sup>3</sup> 未満	無し 有り	10,000m <sup>3</sup> 以上	無し 有り	高含水比粘性土	—	—	無し 有り	<p>3-4 路体（築堤）盛土                      (1) 条件区分                      条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.22 路体（築堤）盛土 積算条件区分一覧 (積算単位：m<sup>3</sup>)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>施工幅員</th> <th>作業形態</th> <th>土 質</th> <th>施工数量</th> <th>障害の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.5m未満</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2.5m以上 4.0m未満</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">4.0m以上</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">敷均し+締固め</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">—</td> <td>10,000m<sup>3</sup>未満</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>10,000m<sup>3</sup>以上</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">敷均し締固め</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">高含水比粘性土以外</td> <td>10,000m<sup>3</sup>未満</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>10,000m<sup>3</sup>以上</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">高含水比粘性土</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">—</td> <td>—</td> <td>無し 有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、路体又は築堤及び埋戻の自工区内で掘削又は、作業土工により発生した土砂等の敷均し・締固め、他工事で発生し運搬されてくる土砂等の敷均し・締固め、土取場（仮置場）で採取し運搬して来る土砂等の敷均し・締固め等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>(注2) 施工数量は、1工事当りの全体盛土量（施工幅員4.0m以上の合計盛土量）とする。</p> <p>(注3) 作業形態                      ①敷均し+締固め：敷均しと締固めの作業をそれぞれ異なる施工機械で行うと想定する場合。                      ②敷均し締固め：盛土材料がタイヤローラの締固めに適さない土質（砂等）の場合。</p> <p>(注4) 障害の有無                      ①無し：作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合。（例えば、築堤工事等）                      ②有り：作業現場が狭い、又は作業障害が多い場合。（例えば、現道上の工事、拡築（腹付、嵩上）工事等）</p> <p>(注5) 高含水比粘性土：バケットやブレード（排土板）等に付着しやすく、特にトラフィカビリティが不足する等問題となりやすいもの。（条件の悪いローム、条件の悪い粘性土、火山灰質粘性土等）</p> <p>(注6) 土量は、締固め後の土量とする。</p> <p>(注7) 構造物上30～60cmの埋戻の場合、施工幅員が2.5m以上であっても2.5m未満を適用する。</p> <p>(注8) 幅2.5m未満での作業は、「B～3100 土の <u>敷均し</u> 締固め作業」による。</p> <p><b>【省略】</b></p>	施工幅員	作業形態	土 質	施工数量	障害の有無	2.5m未満	—	—	—	—	2.5m以上 4.0m未満	—	—	—	—	4.0m以上	敷均し+締固め	—	10,000m <sup>3</sup> 未満	無し 有り	10,000m <sup>3</sup> 以上	無し 有り	敷均し締固め	高含水比粘性土以外	10,000m <sup>3</sup> 未満	無し 有り	10,000m <sup>3</sup> 以上	無し 有り	高含水比粘性土	—	—	無し 有り	<p>字句の削除</p>
施工幅員	作業形態	土 質	施工数量	障害の有無																																																														
2.5m未満	—	—	—	—																																																														
2.5m以上 4.0m未満	—	—	—	—																																																														
4.0m以上	敷均し+締固め	—	10,000m <sup>3</sup> 未満	無し 有り																																																														
			10,000m <sup>3</sup> 以上	無し 有り																																																														
	敷均し締固め		高含水比粘性土以外	10,000m <sup>3</sup> 未満	無し 有り																																																													
				10,000m <sup>3</sup> 以上	無し 有り																																																													
	高含水比粘性土		—	—	無し 有り																																																													
				施工幅員	作業形態	土 質	施工数量	障害の有無																																																										
2.5m未満	—	—	—	—																																																														
2.5m以上 4.0m未満	—	—	—	—																																																														
4.0m以上	敷均し+締固め	—	10,000m <sup>3</sup> 未満	無し 有り																																																														
			10,000m <sup>3</sup> 以上	無し 有り																																																														
	敷均し締固め		高含水比粘性土以外	10,000m <sup>3</sup> 未満	無し 有り																																																													
				10,000m <sup>3</sup> 以上	無し 有り																																																													
	高含水比粘性土		—	—	無し 有り																																																													

正 誤 表 ( 第 1 回 )

正	誤	備 考																										
<p>3-5 路床盛土 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.24 路床盛土 積算条件区分一覧 (積算単位：m<sup>3</sup>)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">平均幅員</th> <th style="width: 33%;">施工数量</th> <th style="width: 33%;">障害の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.5m以上 4.0m未満</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">4.0m以上</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">10,000m<sup>3</sup>未満</td> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">10,000m<sup>3</sup>以上</td> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、路床の自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等の敷均し・締固め、他工事で発生し運搬されてくる土砂等の敷均し・締固め、土取場（仮置場）で採取し運搬して来る土砂等の敷均し・締固め等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>(注2) 施工数量は、1工事当りの全体盛土量（平均幅員 4.0m以上の合計盛土量）とする。</p> <p>(注3) 平均幅員＝断面図の（上幅＋下幅）×1/2</p> <p>(注4) 土量は、締固め後の土量とする。</p> <p>(注5) 障害の有無 ①無し：作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合。（例えば、新設の築堤工事等） ②有り：作業現場が狭い、又は作業障害が多い場合。（例えば、現道上の工事、あるいは拡築（腹付、嵩上）工事等）</p> <p>(注6) 幅 2.5m未満での作業は、「B～3100 土の_____締固め作業」による。</p> <p>【省略】</p> <p><b>B～3100 土の_____締固め作業</b></p> <p>1 適用範囲 本資料の適用範囲は、施工幅員が 2.5m未満の路体・路床・築堤の締固め作業に適用する。</p> <p>2 施工概要（施工フロー） 施工フローは、次図を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注1) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 (注2) <u>敷均し作業は「B～1020 人力まき出し」を適用する。</u></p> <p>【省略】</p>	平均幅員	施工数量	障害の有無	2.5m以上 4.0m未満	-	-	4.0m以上	10,000m <sup>3</sup> 未満	無し	有り	10,000m <sup>3</sup> 以上	無し	有り	<p>3-5 路床盛土 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.24 路床盛土 積算条件区分一覧 (積算単位：m<sup>3</sup>)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">平均幅員</th> <th style="width: 33%;">施工数量</th> <th style="width: 33%;">障害の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.5m以上 4.0m未満</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">4.0m以上</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">10,000m<sup>3</sup>未満</td> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">10,000m<sup>3</sup>以上</td> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、路床の自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等の敷均し・締固め、他工事で発生し運搬されてくる土砂等の敷均し・締固め、土取場（仮置場）で採取し運搬して来る土砂等の敷均し・締固め等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>(注2) 施工数量は、1工事当りの全体盛土量（平均幅員 4.0m以上の合計盛土量）とする。</p> <p>(注3) 平均幅員＝断面図の（上幅＋下幅）×1/2</p> <p>(注4) 土量は、締固め後の土量とする。</p> <p>(注5) 障害の有無 ①無し：作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合。（例えば、新設の築堤工事等） ②有り：作業現場が狭い、又は作業障害が多い場合。（例えば、現道上の工事、あるいは拡築（腹付、嵩上）工事等）</p> <p>(注6) 幅 2.5m未満での作業は、「B～3100 土の<u>敷均し</u>締固め作業」による。</p> <p>【省略】</p> <p><b>B～3100 土の<u>敷均し</u>締固め作業</b></p> <p>1 適用範囲 本資料の適用範囲は、施工幅員が 2.5m未満の路体・路床・築堤の締固め作業に適用する。</p> <p>2 施工概要（施工フロー） 施工フローは、次図を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注_) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>【省略】</p>	平均幅員	施工数量	障害の有無	2.5m以上 4.0m未満	-	-	4.0m以上	10,000m <sup>3</sup> 未満	無し	有り	10,000m <sup>3</sup> 以上	無し	有り	<p>字句の削除</p> <p>字句の削除</p> <p>字句の追加</p>
平均幅員	施工数量	障害の有無																										
2.5m以上 4.0m未満	-	-																										
4.0m以上	10,000m <sup>3</sup> 未満	無し																										
		有り																										
	10,000m <sup>3</sup> 以上	無し																										
		有り																										
平均幅員	施工数量	障害の有無																										
2.5m以上 4.0m未満	-	-																										
4.0m以上	10,000m <sup>3</sup> 未満	無し																										
		有り																										
	10,000m <sup>3</sup> 以上	無し																										
		有り																										

正 誤 表 ( 第 1 回 )

正

誤

備 考

### I 道路工

### I 道路工

#### I～3000 アスファルト舗装工

#### I～3000 アスファルト舗装工

##### 1 適用範囲

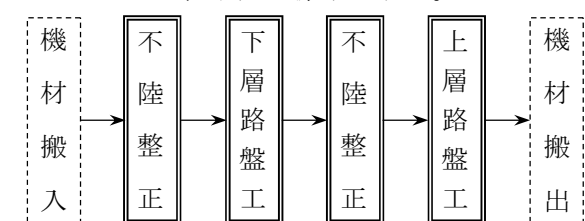
【省略】

##### 1 適用範囲

【省略】

##### 2. 施工概要

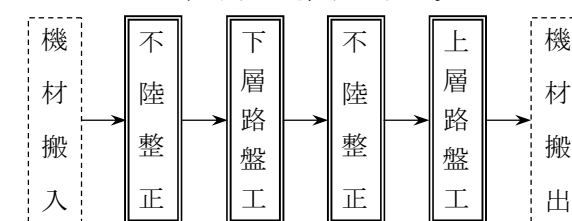
施工フローは、下記を標準とする。



- (注 1) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。
- (注 2) 不陸整形は、必要に応じて計上する。
- (注 3) 下層路盤工（下層路盤（車道部）、下層路盤（歩道部））は、凍上抑制層の施工にも適用する。
- (注 4) 現道における車道での情報ボックス工事及びこれに類する工事は、歩道施工を適用する。

##### 2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



- (注 1) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。
- (注 2) 不陸整形は、必要に応じて計上する。
- (注 3) 下層路盤工（下層路盤（車道部）、下層路盤（歩道部））は、凍上抑制層の施工にも適用する。

##### 3. 施工パッケージ

##### 3-1 基層（車道・路肩部）・中間層（車道・路肩部）・表層（車道・路肩部）

##### (1) 条件区分

【省略】

表 3.2 材 料

積算条件	区 分			
	アスファルト混合物	標準締め後 密度 (t/m³)	アスファルト混合物	標準締め後 密度 (t/m³)
材料	細粒度アスコン	<u>2.25</u>	密粒度キヤップアスコン	2.35
	細粒度キヤップアスコン	<u>2.30</u>	密粒度キヤップアスコン(ゴム入)	〃
	細粒度キヤップアスコン(ゴム入)	〃	密粒度キヤップアスコン(スラグ)	〃
	粗粒度アスコン	2.35	各種 (2.30 以上 2.40 t/m³未満)	2.30 以上～ 2.40 未満
	密粒度アスコン	〃		

【省略】

##### 3. 施工パッケージ

##### 3-1 基層（車道・路肩部）・中間層（車道・路肩部）・表層（車道・路肩部）

##### (1) 条件区分

【省略】

表 3.2 材 料

積算条件	区 分			
	アスファルト混合物	標準締め後 密度 (t/m³)	アスファルト混合物	標準締め後 密度 (t/m³)
材料	細粒度アスコン	<u>2.30</u>	密粒度キヤップアスコン	2.35
	細粒度キヤップアスコン	<u>〃</u>	密粒度キヤップアスコン(ゴム入)	〃
	細粒度キヤップアスコン(ゴム入)	〃	密粒度キヤップアスコン(スラグ)	〃
	粗粒度アスコン	2.35	各種 (2.30 以上 2.40 t/m³未満)	2.30 以上～ 2.40 未満
	密粒度アスコン	〃		

【省略】

字句の追加

数値の訂正

正 誤 表 ( 第 1 回 )

正	誤	備 考																								
<p>3-3 アスカーブ                      (1) 条件区分                      条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.10 アスカーブ 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" data-bbox="172 405 1326 741"> <thead> <tr> <th>断面積</th> <th>材 料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>125 <u>cm<sup>2</sup></u>以上 140 <u>cm<sup>2</sup></u>未満</td><td rowspan="10" style="text-align: center;">(表 3.11)</td></tr> <tr><td>140 <u>cm<sup>2</sup></u>以上 155 <u>cm<sup>2</sup></u>未満</td></tr> <tr><td>155 <u>cm<sup>2</sup></u>以上 175 <u>cm<sup>2</sup></u>未満</td></tr> <tr><td>175 <u>cm<sup>2</sup></u>以上 195 <u>cm<sup>2</sup></u>未満</td></tr> <tr><td>195 <u>cm<sup>2</sup></u>以上 215 <u>cm<sup>2</sup></u>未満</td></tr> <tr><td>215 <u>cm<sup>2</sup></u>以上 235 <u>cm<sup>2</sup></u>未満</td></tr> <tr><td>235 <u>cm<sup>2</sup></u>以上 255 <u>cm<sup>2</sup></u>未満</td></tr> <tr><td>255 <u>cm<sup>2</sup></u>以上 280 <u>cm<sup>2</sup></u>未満</td></tr> <tr><td>280 <u>cm<sup>2</sup></u>以上 300 <u>cm<sup>2</sup></u>未満</td></tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	断面積	材 料	125 <u>cm<sup>2</sup></u> 以上 140 <u>cm<sup>2</sup></u> 未満	(表 3.11)	140 <u>cm<sup>2</sup></u> 以上 155 <u>cm<sup>2</sup></u> 未満	155 <u>cm<sup>2</sup></u> 以上 175 <u>cm<sup>2</sup></u> 未満	175 <u>cm<sup>2</sup></u> 以上 195 <u>cm<sup>2</sup></u> 未満	195 <u>cm<sup>2</sup></u> 以上 215 <u>cm<sup>2</sup></u> 未満	215 <u>cm<sup>2</sup></u> 以上 235 <u>cm<sup>2</sup></u> 未満	235 <u>cm<sup>2</sup></u> 以上 255 <u>cm<sup>2</sup></u> 未満	255 <u>cm<sup>2</sup></u> 以上 280 <u>cm<sup>2</sup></u> 未満	280 <u>cm<sup>2</sup></u> 以上 300 <u>cm<sup>2</sup></u> 未満	<p>3-3 アスカーブ                      (1) 条件区分                      条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.10 アスカーブ 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" data-bbox="1427 405 2582 741"> <thead> <tr> <th>断面積</th> <th>材 料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>125 <u>m<sup>2</sup></u>以上 140 <u>m<sup>2</sup></u>未満</td><td rowspan="10" style="text-align: center;">(表 3.11)</td></tr> <tr><td>140 <u>m<sup>2</sup></u>以上 155 <u>m<sup>2</sup></u>未満</td></tr> <tr><td>155 <u>m<sup>2</sup></u>以上 175 <u>m<sup>2</sup></u>未満</td></tr> <tr><td>175 <u>m<sup>2</sup></u>以上 195 <u>m<sup>2</sup></u>未満</td></tr> <tr><td>195 <u>m<sup>2</sup></u>以上 215 <u>m<sup>2</sup></u>未満</td></tr> <tr><td>215 <u>m<sup>2</sup></u>以上 235 <u>m<sup>2</sup></u>未満</td></tr> <tr><td>235 <u>m<sup>2</sup></u>以上 255 <u>m<sup>2</sup></u>未満</td></tr> <tr><td>255 <u>m<sup>2</sup></u>以上 280 <u>m<sup>2</sup></u>未満</td></tr> <tr><td>280 <u>m<sup>2</sup></u>以上 300 <u>m<sup>2</sup></u>未満</td></tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	断面積	材 料	125 <u>m<sup>2</sup></u> 以上 140 <u>m<sup>2</sup></u> 未満	(表 3.11)	140 <u>m<sup>2</sup></u> 以上 155 <u>m<sup>2</sup></u> 未満	155 <u>m<sup>2</sup></u> 以上 175 <u>m<sup>2</sup></u> 未満	175 <u>m<sup>2</sup></u> 以上 195 <u>m<sup>2</sup></u> 未満	195 <u>m<sup>2</sup></u> 以上 215 <u>m<sup>2</sup></u> 未満	215 <u>m<sup>2</sup></u> 以上 235 <u>m<sup>2</sup></u> 未満	235 <u>m<sup>2</sup></u> 以上 255 <u>m<sup>2</sup></u> 未満	255 <u>m<sup>2</sup></u> 以上 280 <u>m<sup>2</sup></u> 未満	280 <u>m<sup>2</sup></u> 以上 300 <u>m<sup>2</sup></u> 未満	<p>字句の訂正</p>
断面積	材 料																									
125 <u>cm<sup>2</sup></u> 以上 140 <u>cm<sup>2</sup></u> 未満	(表 3.11)																									
140 <u>cm<sup>2</sup></u> 以上 155 <u>cm<sup>2</sup></u> 未満																										
155 <u>cm<sup>2</sup></u> 以上 175 <u>cm<sup>2</sup></u> 未満																										
175 <u>cm<sup>2</sup></u> 以上 195 <u>cm<sup>2</sup></u> 未満																										
195 <u>cm<sup>2</sup></u> 以上 215 <u>cm<sup>2</sup></u> 未満																										
215 <u>cm<sup>2</sup></u> 以上 235 <u>cm<sup>2</sup></u> 未満																										
235 <u>cm<sup>2</sup></u> 以上 255 <u>cm<sup>2</sup></u> 未満																										
255 <u>cm<sup>2</sup></u> 以上 280 <u>cm<sup>2</sup></u> 未満																										
280 <u>cm<sup>2</sup></u> 以上 300 <u>cm<sup>2</sup></u> 未満																										
断面積		材 料																								
125 <u>m<sup>2</sup></u> 以上 140 <u>m<sup>2</sup></u> 未満	(表 3.11)																									
140 <u>m<sup>2</sup></u> 以上 155 <u>m<sup>2</sup></u> 未満																										
155 <u>m<sup>2</sup></u> 以上 175 <u>m<sup>2</sup></u> 未満																										
175 <u>m<sup>2</sup></u> 以上 195 <u>m<sup>2</sup></u> 未満																										
195 <u>m<sup>2</sup></u> 以上 215 <u>m<sup>2</sup></u> 未満																										
215 <u>m<sup>2</sup></u> 以上 235 <u>m<sup>2</sup></u> 未満																										
235 <u>m<sup>2</sup></u> 以上 255 <u>m<sup>2</sup></u> 未満																										
255 <u>m<sup>2</sup></u> 以上 280 <u>m<sup>2</sup></u> 未満																										
280 <u>m<sup>2</sup></u> 以上 300 <u>m<sup>2</sup></u> 未満																										

正 誤 表 ( 第 1 回 )

正	誤	備 考
<p style="text-align: center;">M 農地造成改良工</p> <p>M～2050 石レキ除去（ストーンローダ）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>4 積込作業 排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.8 m<sup>3</sup>（平積0.6 m<sup>3</sup>）バックホウを標準とし「B～0810 土工 3-6 積込（ルーズ）」の以下の条件による。（付着混入土砂は考慮しない） 土砂の状態：ルーズ 作業内容：掘削積込 土質名：岩塊・玉石</p> <p>5 運搬作業 10 t 積級ダンプトラックを標準とし「B～0810 土工 3-2 土砂等運搬」による。</p> <p>6 畑面整地作業 排出ガス対策型（第2次基準値）13 t 湿地ブルドーザを標準とする。 基準作業量は土質、ほ場形状に関係なく以下のとおりとする。 基準作業量=0.129 ha/h</p> <p>7 排レキ堆積物整理作業 「B～0810 土工 3-3 整地」による。 【省略】</p>	<p style="text-align: center;">M 農地造成改良工</p> <p>M～2050 石レキ除去（ストーンローダ）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>4 積込作業 排出ガス対策型（第1次基準値）クローラ型山積0.8 m<sup>3</sup>（平積0.6 m<sup>3</sup>）バックホウを標準とし「B～0810 土工 3-6 積込（ルーズ）」の以下の条件による。（付着混入土砂は考慮しない） 土砂の状態：ルーズ 作業内容：掘削積込 土質名：岩塊・玉石・<u>岩（破碎）</u></p> <p>5 運搬作業 10 t 積級ダンプトラックを標準とし「B～0810 土工 3-2 土砂等運搬」による。</p> <p>6 畑面整地作業 排出ガス対策型（第2次基準値）13 t 湿地ブルドーザを標準とする。 基準作業量は土質、ほ場形状に関係なく以下のとおりとする。 基準作業量=0.129 ha/h</p> <p>7 排レキ堆積物整理作業 「B～0810 土工 3-3 整地」による。 【省略】</p>	<p>字句の削除</p>



正	誤	備 考								
<p style="text-align: center;">○ ほ場整備・客土工</p> <p>○～1030 畦畔築立工</p> <p>1 適用範囲 本歩掛は、現地発生土及び、購入土等により畦畔を築立する場合に適用する。なお、「○～1000 ほ場整備整地工」「○～1020 反転均平工法」の歩掛を使用した工事には適用しない。</p> <p>2 施工概要 施工フローは次図を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR     A[現地発生土・購入土] --&gt; B[畦畔築立]     B --&gt; C[畦畔法面整形]             </pre> </div> <p><u>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</u></p> <p>3 機種を選定 畦畔築立工に使用する機種、規格は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">機 械 名</th> <th style="width: 70%;">規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 （法面バケツ付）山積 0.45 m<sup>3</sup>（平積 0.35 m<sup>3</sup>）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) バックホウは賃料とする。</p> <p>【省略】</p>	機 械 名	規 格	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 （法面バケツ付）山積 0.45 m <sup>3</sup> （平積 0.35 m <sup>3</sup> ）	<p style="text-align: center;">○ ほ場整備・客土工</p> <p>○～1030 畦畔築立工</p> <p>1 適用範囲 本歩掛は、現地発生土及び、購入土等により畦畔を築立する場合に適用する。なお、「○～1000 ほ場整備整地工」「○～1020 反転均平工法」の歩掛を使用した工事には適用しない。</p> <p>2 施工概要 施工フローは次図を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR     A[現地発生土・購入土] --&gt; B[畦畔築立]     B --&gt; C[畦畔法面整形]             </pre> </div> <p>3 機種を選定 畦畔築立工に使用する機種、規格は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">機 械 名</th> <th style="width: 70%;">規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 （法面バケツ付）山積 0.45 m<sup>3</sup>（平積 0.35 m<sup>3</sup>）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) バックホウは賃料とする。</p> <p>【省略】</p>	機 械 名	規 格	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 （法面バケツ付）山積 0.45 m <sup>3</sup> （平積 0.35 m <sup>3</sup> ）	<p style="text-align: center;">字句の追加</p>
機 械 名	規 格									
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 （法面バケツ付）山積 0.45 m <sup>3</sup> （平積 0.35 m <sup>3</sup> ）									
機 械 名	規 格									
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型 （法面バケツ付）山積 0.45 m <sup>3</sup> （平積 0.35 m <sup>3</sup> ）									

正 誤 表 ( 第 1 回 )

正	誤	備 考
---	---	-----